

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長 殿

令和7年4月2日

団体名 岡崎川柳研究社

代表者 山下 吉宣

構成員 43 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

文芸川柳の普及と会員の親睦、作句上の向上、そして一人でも多くの市民に川柳の魅力と楽しさを伝え、高齢化社会の中での生きがいの提供

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
4月から令和 7年3月31日	矢作市民 センター	一般市民	16人	愛好者への作句指導 (毎月開催)
4月から令和 7年3月	南部市民 センター	会員	25人(会員)	川柳の作句指導と 句会の開催(毎月開催)
令和6年 4月6日	西部地域 交流センター	一般市民	参加者 193名	市民川柳大会の開催
令和7年3月 1月29日～2月2日	岡崎市 美術館	市民・会員	—	岡崎文化協会展にて 川柳教室の開催と 作品展示

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

市美術館開催の文協展では川柳教室を開催、川柳の楽しさと体験してもらった。矢作での講師派遣は受講者が楽しく川柳を学んでいる。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 4 (3) 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

ボランティア活動ではないので自己評価はこの程度が妥当。
但し川柳を楽しむ市民は増えていると思う。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。